

# 「古くて新しい“土の締固め”の原理と実際」に関する講習会

主催：(公社)地盤工学会関西支部

最近、豪雨・地震により、締固めが不十分な既存の道路・宅地盛土の変状や崩壊が頻発し、国民生活・生産活動の大きな脅威となっています。奇しくも同時期に、鋼・コンクリート構造物の劣化による崩落が顕在化し、これら構造物の維持管理が喫緊の課題となっています。本来、いい土をよく締固めて築造した土構造物は、鋼・コンクリート構造物と比較して、耐久性に遥かに優れ、事実上メンテナンスフリーであり、レベルⅡ地震動にも十分に対応可能なはずで、それでは、このような土構造物の優れた特質を發揮するためには、どのような地盤材料をどのような管理方法で締固めればよいのでしょうか？これは地盤工学に携わる技術者・研究者にとって、最も古くて最も新しい課題の一つです。本講習会では、土の締固めに携わる一線級の研究者4名を講師にお招きして、この地盤工学に固有な課題解決のための基本知識を再整理し、土の締固めの原理、工学的意義、実務の実態、等を深く掘り下げてご紹介します。土木・建築分野の第一戦の実務に携わる幅広い年齢層の実務者、若手・中堅の研究者、現役学生さらには一般市民にとって、土の不思議を考える絶好の機会です。奮ってご参加下さい。

## 記

(1)開催日時 : 2013年8月1日(木) 13:10 ~ 17:00

(2)場 所 : 追手門学院 大阪城スクエア 大手前ホール  
〒540-0008 大阪府中央区大手前1-3-20

(追手門学院大手前中・高等学校本館6階)

(3)参加費 : 会員5,000円, 非会員7,000円, 学生会員2,000円 (書籍を除くテキスト代含む)

(4)プログラム :

13:10~13:15 開会の挨拶

末廣 正人 (地盤工学会関西支部副支部長)

13:15~14:45 「土の締固め -基本と最近の話題-

建山 和由 (立命館大学)

14:45~14:55 休憩

14:55~15:35 「乾燥密度と飽和度に基づく盛土の締固め管理」

龍岡 文夫 (東京理科大学)

15:35~16:15 「道路盛土、河川堤防等における締固めの効果と実態」

佐々木 哲也 ((独) 土木研究所)

16:15~16:55 「最近の事例から学ぶ宅地盛土造成のトラブルの原因と対策」

澁谷 啓 (神戸大学大学院)

16:55~17:00 閉会の挨拶

(5)G-CPDポイント : 3.5

(6)申込み期限 : 2013年7月25日(木)(期限を延長しました)

(7)テキスト : 講習時のPPT配布資料(参加費に含む)を用いますが、第一部の「土の締固め -基本と

最近の話題ー」に関しては、「実務シリーズ 30：土の締固め（24年4月発行）」（価格：会員 2,205円、非会員（定価） 3,150円），をご準備いただくとより有益な学習ができる構成となっています。学会発刊本が必要な方は申込み時にその旨ご記入いただければ、当日講習会場にて販売いたします。

※ただし、7月19日以降にお申込みいただいた場合、支部において書籍の確保が困難となる場合もありますので、ご承知おきください。

(8) 申込み方法 : 参加ご希望の方は、①氏名、②所属、③所属住所、④所属先電話番号・FAX・メールアドレス、⑤会員・非会員の別、⑥当日学会発刊本購入是非をご記入の上、申込期限までに FAX または E-mail でお送りください。申込受付後、参加証・請求書・案内図および郵便振替用紙をお送りいたします。なお、会費の納入は郵便振替（銀行振込・現金書留可）でお願いいたします。

(9) 申込み先 : (公社)地盤工学会関西支部

〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-5-7 ストークビル天満橋 801 号

TEL : 06-6946-0393, FAX : 06-6946-0383

e-mail : [office@jgskb.jp](mailto:office@jgskb.jp), URL : <http://www.jgskb.jp>